



## 平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年8月3日

上場会社名 株式会社 エフテック 上場取引所 東  
 コード番号 7212 URL http://www.ftech.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 福田 祐一  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼上席執行役員 管理本 (氏名) 青木 啓之 TEL 0480-85-5211  
 部長  
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月10日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	52,720	11.6	1,843	△15.6	1,495	△15.0	710	7.0
29年3月期第1四半期	47,254	4.0	2,183	269.7	1,759	291.6	663	ー

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 709百万円 (ー%) 29年3月期第1四半期 △2,987百万円 (ー%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	42.47	38.03
29年3月期第1四半期	43.21	35.53

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第1四半期	144,926	49,290	23.3
29年3月期	144,420	49,732	23.3

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 33,799百万円 29年3月期 33,655百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	ー	10.00	ー	17.00	27.00
30年3月期	ー				
30年3月期(予想)		10.00	ー	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	103,000	13.4	3,000	△1.1	2,700	21.1	1,100	60.0	65.76
通期	209,000	5.6	8,000	△0.4	7,400	2.6	4,000	△0.9	239.14

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）一、除外 一社（社名）一

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注)詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期1Q	16,760,425株	29年3月期	16,760,425株
② 期末自己株式数	30年3月期1Q	33,734株	29年3月期	33,734株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期1Q	16,726,691株	29年3月期1Q	15,356,266株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等のご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定等につきましては、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書 .....	5
第1四半期連結累計期間 .....	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	7
(セグメント情報等) .....	8
(重要な後発事象) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、先進国を中心に景気回復基調が続きました。米国では個人消費が引き続き堅調に推移しております。欧州も地政学的リスクの影響等から先行き不透明感がありましたが、緩やかな回復傾向にありました。中国では景気減速が続きましたが、その他新興国の景気は回復傾向にありました。

一方、日本経済については、円安基調から輸出関連企業を中心に収益改善に向かう傾向が見られ、個人消費も底堅く、緩やかな景気回復基調が続きました。

このような中自動車業界においては、米国では、低金利及び自動車メーカーによる販売奨励金の上昇はあったものの自動車販売が低調に推移し、中国も、加熱する不動産への政府の引き締め策の影響から、自動車販売も低調に推移しております。欧州においては、経済状況の堅調な推移を受け自動車販売も底堅く推移しております。日本では、個人消費の増加傾向を背景として自動車販売は堅調に推移しています。

こうした状況において当社グループは、平成29年4月より開始した第13次中期計画において「Back to Basics」「Challenge for New」を基本方針に掲げ、得意先に対し新たな価値を提供すべく活動しております。

当社グループの当第1四半期連結累計期間の業績は、主要得意先の国内市場での生産増、北米市場での引き続き堅調な生産、中国市場での得意先販売の好調を受け売上高52,720百万円（前年同期比11.6%増）となりました。損益については、北米における新規受注製品の立ち上げに伴うコスト増及び高付加価値製品の生産減があり、営業利益1,843百万円（前年同期比15.6%減）、経常利益1,495百万円（前年同期比15.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益710百万円（前年同期比7.0%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(日本)

当社の主要得意先の生産台数の増加及び輸出版売の増加等により、売上高は6,544百万円（前期同期比13.3%増）、営業利益852百万円（前年同期比177.0%増）となりました。

(北米)

北米市場は主要得意先の堅調な自動車販売が継続し、売上高は31,640百万円（前年同期比11.2%増）となりました。損益は、新規受注製品の立ち上げに伴うコスト増及び高付加価値製品の生産減があり、営業利益249百万円（前年同期比76.5%減）となりました。

(アジア)

中国市場で主要得意先の販売が好調に推移し、売上高は14,534百万円（前年同期比11.5%増）、営業利益1,230百万円（前期同期比24.4%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、機械装置及び運搬具、建設仮勘定等の増加により、前連結会計年度末に比べ505百万円増加し、144,926百万円となりました。

負債は、短期借入金等の増加により、前連結会計年度末に比べ948百万円増加し、95,636百万円となりました。

純資産は、為替換算調整勘定、非支配株主持分等の減少により、前連結会計年度末に比べ442百万円減少し、49,290百万円となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成29年5月10日の「平成29年3月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,719	5,288
受取手形及び売掛金	33,151	32,079
商品及び製品	5,883	6,060
仕掛品	4,228	4,652
原材料及び貯蔵品	8,533	8,819
その他	4,383	4,759
流動資産合計	61,899	61,659
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	18,937	18,640
機械装置及び運搬具(純額)	33,374	34,342
建設仮勘定	11,416	12,203
その他(純額)	10,948	10,544
有形固定資産合計	74,676	75,731
無形固定資産	508	430
投資その他の資産		
投資有価証券	5,677	5,529
その他	1,676	1,606
貸倒引当金	△17	△30
投資その他の資産合計	7,336	7,105
固定資産合計	82,521	83,267
資産合計	144,420	144,926
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	21,186	20,374
短期借入金	20,562	24,202
1年内返済予定の長期借入金	10,953	11,103
未払法人税等	649	502
役員賞与引当金	134	46
その他	9,979	9,711
流動負債合計	63,465	65,941
固定負債		
社債	2,350	2,350
長期借入金	23,271	22,165
役員退職慰労引当金	280	84
退職給付に係る負債	987	981
負ののれん	67	65
その他	4,265	4,047
固定負債合計	31,222	29,695
負債合計	94,688	95,636

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,615	5,615
資本剰余金	6,155	6,155
利益剰余金	21,425	21,850
自己株式	△18	△18
株主資本合計	33,177	33,602
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	740	655
為替換算調整勘定	270	20
退職給付に係る調整累計額	△533	△480
その他の包括利益累計額合計	477	196
非支配株主持分	16,077	15,490
純資産合計	49,732	49,290
負債純資産合計	144,420	144,926

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書  
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	47,254	52,720
売上原価	41,140	46,736
売上総利益	6,113	5,984
販売費及び一般管理費	3,930	4,140
営業利益	2,183	1,843
営業外収益		
受取利息	15	17
受取配当金	23	18
持分法による投資利益	124	13
その他	41	49
営業外収益合計	204	98
営業外費用		
支払利息	211	227
為替差損	414	140
その他	3	77
営業外費用合計	629	446
経常利益	1,759	1,495
特別利益		
固定資産売却益	4	1
特別利益合計	4	1
特別損失		
固定資産売却損	1	0
固定資産除却損	4	13
特別損失合計	5	13
税金等調整前四半期純利益	1,758	1,483
法人税、住民税及び事業税	600	563
法人税等調整額	60	△78
法人税等合計	660	485
四半期純利益	1,098	997
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	663	710
非支配株主に帰属する四半期純利益	434	287

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△131	△69
為替換算調整勘定	△3,753	△232
退職給付に係る調整額	18	52
持分法適用会社に対する持分相当額	△218	△39
その他の包括利益合計	△4,085	△288
四半期包括利益	△2,987	709
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△2,122	428
非支配株主に係る四半期包括利益	△865	280



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

一部の連結子会社における四半期連結財務諸表の税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益(損失)に該当見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計
	日本	北米	アジア	
売上高				
外部顧客への売上高	5,777	28,441	13,034	47,254
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,051	472	638	5,162
計	9,829	28,914	13,672	52,416
セグメント利益	307	1,061	989	2,358

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,358
セグメント間取引消去	△174
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益	2,183

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計
	日本	北米	アジア	
売上高				
外部顧客への売上高	6,544	31,640	14,534	52,720
セグメント間の内部 売上高又は振替高	7,007	395	726	8,129
計	13,552	32,036	15,260	60,850
セグメント利益	852	249	1,230	2,331

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,331
セグメント間取引消去	△488
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益	1,843

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。